

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

(夜間部 イラストレーション科)

科目 区分	必修 選択の 区分	授業科目	実務教員 による授業	うちシラバス 添付	第1学年		授業時数 合計 (単位数)	実務教員授業時数		
					週間 授業時数	年間 授業時数		第1学年	第1学年	
講 義	必 修	オリエンテーション			4	16	16			
		進路ガイダンス			4	16	16			
演 習 実 技	必 修	イラストレーション1	●		4	60	60	60		
		イラストレーション2	●		4	60	60	60		
		イラストレーション3	●		4	60	60	60		
		イラストレーション4	●		4	60	60	60		
		PC演習	●		4	60	60	60		
		画材研究	●	★	4	60	60	60	60	
		修	ドローイング1	●		4	60	60	60	
			ドローイング2	●		4	60	60	60	
			自主制作				125	125		
			エバリュエーション				110	110		
			東美祭				70	70		
必修科目授業時数					817		817	480	60	
選択科目授業時数										
卒業に必要な総授業時数					817		817	480	60	

2020年度
指導内容書

夜間部イラストレーション 科

授業名 画材研究

担当講師 乙坂 広和

授業計画進行表(前期・後期)

回数	授業内容	回数	授業内容
第1回 4/16	オリエンテーション 画材研究という授業とは? 目的と授業内容の説明 ～イラストレーションとは?	第10回 6/25	アクリル絵具とは? ～アクリル色見本(練習課題)作成
第2回 4/23	パステルとは? ～パステル色見本(練習課題)作成	第11回 7/2	アクリル 自由イラスト(採点課題)
第3回 5/7	パステル 果物・野菜イラスト(練習課題)	第12回 7/9	先週のつづき アクリル 自由イラスト(採点課題)
第4回 5/14	色鉛筆とは? ～色鉛筆混色見本(練習課題)作成	第13回 /	
第5回 5/21	パステル・色鉛筆 人物リアルイラスト(採点課題)	第14回 /	
第6回 5/28	先週のつづき パステル・色鉛筆 人物リアルイラスト(採点課題)	第15回 /	
第7回 6/4	水彩絵具とは? ～水彩色見本(練習課題)作成	第16回 /	
第8回 6/11	水彩風景イラスト(採点課題)	第17回 /	
第9回 6/18	先週のつづき 水彩風景イラスト(採点課題)	第18回 /	

授業形式 講義(演習)・実験・実習実技

授業内容

この授業では1.パステル、2.色鉛筆、3.透明水彩絵具、4.アクリル絵具の4つの画材を、その基本的な使い方・塗り方(ノーマルペインティング)を学びながら、それぞれの画材で彩色した時に見られるビジュアル(表現)の違いを自分のイラストにどう落とし込むか、研究、さらに発展させながら表現力(武器)を身に付けさせ、自らその画材で描くことで体験、会得し、今後自分が制作していくイラスト(デザイン)の世界におけるビジュアル表現の基礎を作り、幅を広げさせる。
また、授業回数の関係上4つの画材に絞り込んだが、時間のゆるす限り、その他の画材(ポスターカラーやアクリルガッシュ、カラーインク等)も紹介して行く予定である。

到達目標

上記、授業内容の中でも記載しましたが、それぞれの画材で彩色した時に見られるビジュアル(表現)の違いを自分のイラストにどう落とし込むか、研究、さらに発展させながら表現力(武器)を身に付けさせ、自らその画材で描くことで体験、会得し、今後自分が制作していくイラスト(デザイン)の世界におけるビジュアル表現の基礎を作り、幅を広げさせる。
絵具をただの「色を付ける道具」「塗り絵のための道具」と言う考えから脱却させる。

成績評価基準

基本、毎課題画材を使って絵を描く内容になるので、単純に絵の上手さや完成度だけでは無く、その画材が持っている表現を絵の内容(雰囲気)に生かそうとしているかなどの、取り組み姿勢やコンセプトも成績評価の重要なポイントとなる。

提出課題

1.パステル色見本 2.パステル果物・野菜イラスト 3.色鉛筆混色見本 ④パステル・色鉛筆人物リアルイラスト 5.水彩色見本 ⑥水彩風景イラスト7.アクリル色見本 ⑧アクリル自由イラスト
※1、2、3、5、7は練習課題 ④、⑥、⑧は採点課題

学生の持ち物、授業内で必要な材料など

毎授業での使用する画材や、その他の課題制作に必要な諸道具。
画材の使い方デモンストレーション時に使用する講師用の画材・道具

補足(授業内でご使用予定機材等がございましたらご記入下さい。)